

授業科目等の概要

(工業専門課程 航空整備科 共通学科教育) 令和4年度 第1学年

分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			道徳訓育	副読本「人生でいちばん大切な10の知恵」「教師必携」をもとにして社会に役立つ人材となることを学ぶ	1通	34	1	○			○	○			
2	○			一般教養	SPI「国語」のほか、社会科目を取り入れて基礎学力を高めるように学ぶ	1通	34	1	○			○	○			
3	○			一般英語	TOEIC高得点取得を目指し、基本的な文法事項やリスニングを学ぶ	1通	68	2	○			○	○			
4	○			航空英語	航空機マニュアルの基本的な文形や、専門用語を学ぶ	1通	34	1	○			○	○			
5	○			航空法規	航空整備士に必要な関係法規を理解させる	1通	68	2	○			○	○			
6	○			航空力学	流体力学、空気力学の基礎及び、飛行機の特長、諸現象について理解させる	1通	105	3	○			○	○			
7	○			航空機構造学	飛行機の構造、装置、各種系統の概要を理解させる	1通	102	3	○			○	○			
8	○			航空機材料学	航空機に使用されている材料の規格、性質について理解させる	1通	68	2	○			○	○			
9	○			発動機学	発動機の基礎知識、構造、作動について理解させる	1通	136	4	○			○	○			
10	○			航空電気学	航空機の電気に係る基礎知識、理論及び、装備品、各システムについて理解させる	1通	102	3	○			○	○			
11	○			航空計器学	航空機用計器の構造、機能、取扱及び、無線機器の動作原理、運用について理解させる	1通	102	3	○			○	○			
12	○			基本技術	航空機の整備に必要な基本技術の知識を習得させる	1通	204	6	○			○	○			
合計				12 科目		1057単位時間(31単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
成績が可以上。欠課時数が総実授業数の10%以内。 全単位を取得すること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(工業専門課程 航空整備科 二等航空運航整備士コース) 令和4年度 第2学年

分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			道徳訓育	副読本「人生でいちばん大切な10の知恵」「教師必携」をもとにして社会に役立つ人材となることを学ぶ	2通	34	1	○			○	○		
2	○			一般教養	SPI「国語」のほか、社会科目を取り入れて基礎学力を高めるように学ぶ	2通	68	2	○			○	○		
3	○			一般英語	TOEIC高得点取得を目指し、基本的な文法事項やリスニングを学ぶ	2通	102	3	○			○	○		
4	○			PC実習	マイクロソフト ワード及び、エクセルの基本操作について理解させる	2通	34	1			○	○	○		
5	○			材料実習	超音波探傷試験の基礎から適用方法を理解させ資格取得を目指す	2通	105	3			○	○	○		
6	○			基本技術Ⅱ	航空機の整備技術の基礎をなす基本作業全般を理解させる	2通	241	7			○	○	○		
7	○			システム実習	整備に必要な作業・検査についての基本技術の習得と、C172の各システムの構成、機能、作動を理解させる	2通	118	4			○	○	○		
8	○			発動機実習	ピストンエンジンの構造、機能及び、プロペラの理論、構造、機能を理解させる	2通	105	3			○	○	○		○
9	○			装備品実習	航空機用計器、電気装備品、無線航法機器の構造、動作原理について理解させる	2通	105	3			○	○	○		
10	○			電子回路実習	電子回路図の解読、電子技術の基礎知識、計測機器の使用方法等について理解させる	2通	68	2			○	○		○	
11	○			航空機取扱	C172の運航整備業務と技術管理について理解させる	2通	105	3			○	○	○		○
合計					11 科目	1085 単位時間 (32単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
成績が可以上。欠課時数が総実授業数の10%以内。 全単位を取得すること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(工業専門課程 航空整備科 二等航空運航整備士コース) 令和4年度 第3学年

分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			道徳訓育	副読本「人生でいちばん大切な10の知恵」「教師必携」をもとにして社会に役立つ人材となることを学ぶ	3通	34	1	○			○	○		
2	○			一般英語	TOEIC高得点取得を目指し、基本的な文法事項やリスニングを学ぶ	3通	34	1	○			○	○		
3	○			航空英語	航空機マニュアルの基本的な文形や、専門用語を学ぶ	3通	34	1	○			○	○		
4	○			基本技術Ⅱ	航空機の整備に必要な基本作業及び、検査の方法を習得させる	3前期	204	12				○	○	○	
5	○			飛行機実習	C172 の各システムの構成、機能、作動を理解させる	3通	141	6				○	○	○	
6	○			発動機実習	0-320, TS10-520 エンジンの各系統、構造、機能、取扱い及び、プロペラ構造、機能、取扱いについて理解させる	3通	78	3				○	○	○	
7	○			装備品実習	航空機用計器、電気装備品、無線航法機器の構造、動作原理について理解させる	3通	83	3				○	○	○	
8	○			航空機取扱	C172 の運航整備業務と技術管理について理解させる	3通	117	6				○	○	○	
合計						8	科目		725 単位時間 (33単位)						

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
成績が可以上。欠課時数が総実授業数の10%以内。 全単位を取得すること。	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。